

町のスポーツ普及に尽力

工藤敏和さんに公益財団法人北海道体育協会表彰



▲今後もよろしくお願ひいたします。

工藤敏和さん（船見町）に公益財団法人北海道体育協会より表彰状と記念品が贈られました。

工藤さんは、平成4年度から27年度までの23年の長きにわたり豊浦町体育協会の理事長並びに会長を歴任し、体育協会の運営とスポーツ団体の育成および町民へのスポーツの普及に多大の貢献をされました。

現在も、体育協会顧問やソフトボール連盟会長を務めるなど町のスポーツ普及のために尽力されております。

戦没者のご冥福を祈る

平成30年度豊浦町戦没者追悼式



▲忠魂碑に花を手向け、ご冥福を祈る参列者

7月11日、中央公民館にて平成30年度戦没者追悼式が執り行われました。

式にはご遺族や来賓など58名が参列し、日露戦争以降の町内戦没者234柱へ黙とうを捧げ、ご冥福を祈りました。

村井町長は「町民を代表して哀惜の意を表します。戦争の悲惨さをしっかり伝えていかなければならない。」と述べ、ご英霊とご遺族に謹んで敬意を表しました。

園児たちの頑張りに大声援

認定こども園青空 第5回大運動会



▲真剣に障害物を一つ一つクリアしていきます。

7月7日、認定こども園青空の運動会がファミリースポーツセンターで行われました。

紅組と白組に分かれた園児たちは、大きな声で応援合戦を繰り広げ、気合十分。競走では、1等賞を目指して力走り、一生懸命練習してきたお遊戯では、体を目いっぱい使って表現しました。

元気いっぱいの園児の姿に、観客の皆さんからは、温かい声援が送られていました。

平和の尊さを次世代に

豊浦中学校 平和学習



▲真珠湾攻撃、大空襲などについてグループ別に発表

7月24日、豊浦中学校3年生が約半年間にわたり取り組んだ平和学習の成果を発表しました。

平成29年度から町の非核・平和の町宣言を受けて、3年生が修学旅行で広島市を訪ね、太平洋戦争時の被爆者の体験を聴くなど目を見て、耳で聴いて、戦争の時代背景から平和の尊さを学んでいます。

3年生は「今ある平和を守るために、過去から学んだ戦争の悲惨さを私たちが伝えていく」と平和の尊さを次世代に伝えていくことを力強く語りました。